

本格運行の事例紹介

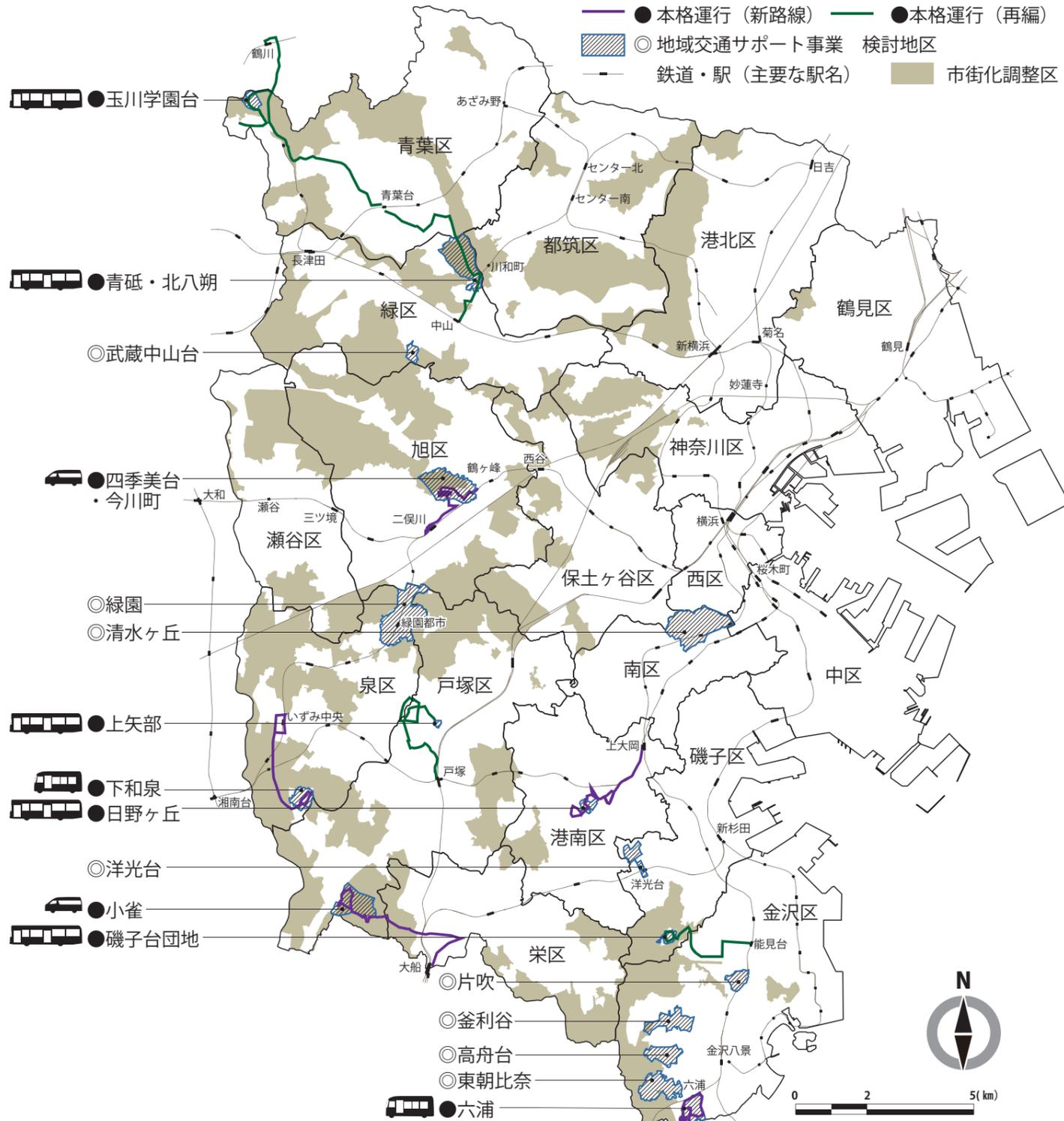
平成 19 年から平成 27 年 3 月末までのこれまでに、
 24 地区で地域交通サポート事業の検討が行われて
 います。そのうち本格運行が実現したのは 9 地区、
 現在も検討が続いている地区は 8 地区です。

地域交通サポート 検索

本格運行の詳細は
 ホームページもご覧ください
 横浜市地域交通サポート事業
<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/plan/chiiki/>



- 本格運行 (新路線)
- 本格運行 (再編)
- ◎ 地域交通サポート事業 検討地区
- 鉄道・駅 (主要な駅名)
- 市街化調整区



地区名：港南区 日野ヶ丘地区 日野ヶ丘町内会交通問題研究会

グループ登録：平成 19 年 10 月 本格運行開始時期：平成 24 年 4 月 検討期間：約 4 年 6 ヶ月

地区の状況：約 1,000 世帯 約 2,500 人が居住 丘陵上の戸建住宅と集合住宅 市営地下鉄ブルーライン 港南中央駅、上永谷駅から約 1 km



地域の
 取り組み概要

昭和 40 年代に開発された当地区は、高台にありバス停まで遠く、高齢化とともに益々生活に支障をきたすようになりました。そこで、高齢者支援・福祉の向上を目指し「日野ヶ丘町内会交通問題研究会」を立ち上げ、バス誘致の検討を始めました。

研究会の目標はバスを誘致することではありませんが、単に便利にするというだけではなく、この活動の成果が、多くの地域居住者の日常生活・福祉の向上に資するものでなければならないこと。また、静かな住宅地域をバスが走ることになるわけですから、バスを必要としない方々からも合意を得ることが大前提となりました。そこで、いろいろな角度から住民の意見を求め、まず先に問題点を明らかにし課題解決に取り組みました。



インタビューに
 応じて頂いた
 交通問題研究会
 の方々

課題が概ね整理できた段階で、バス事業者の採算性はもとより、バスルートの的確性・合理性・バス停留所位置との整合性などバス事業者をはじめ、土木事務所・警察署などから意見を伺いました。全体構想を明らかにした上で沿線にあたる住民に、利用頻度・要件・時間帯などをアンケート調査した結果、採算性が見通しは立ち、しかも利用要件・時間帯などの分析から継続性が維持できるものであり、福祉向上にも寄与できるとの確信を得ました。直ちに実証運行を行い、続けて本格運行に入り既に 3 年を経過しました。事業者目標も達成し、無事故の運行は継続され、地域からは今も喜びの声が絶えません。

住民目線でのバス事業者の誠意ある対応は、住民にとって「わたくしたちのバス」と言った親しみを持てるものになっていることは喜ばしいことです。

運行概要：

運行ルート

上大岡駅～日野ヶ丘地区～上大岡駅
 路線延長約 7.4 km (循環路線)

運行時間

平日・土曜 AM6 時台～PM10 時台
 日曜・祝日 AM6 時台～PM9 時台

運行本数 (平成 26 年 4 月時点)

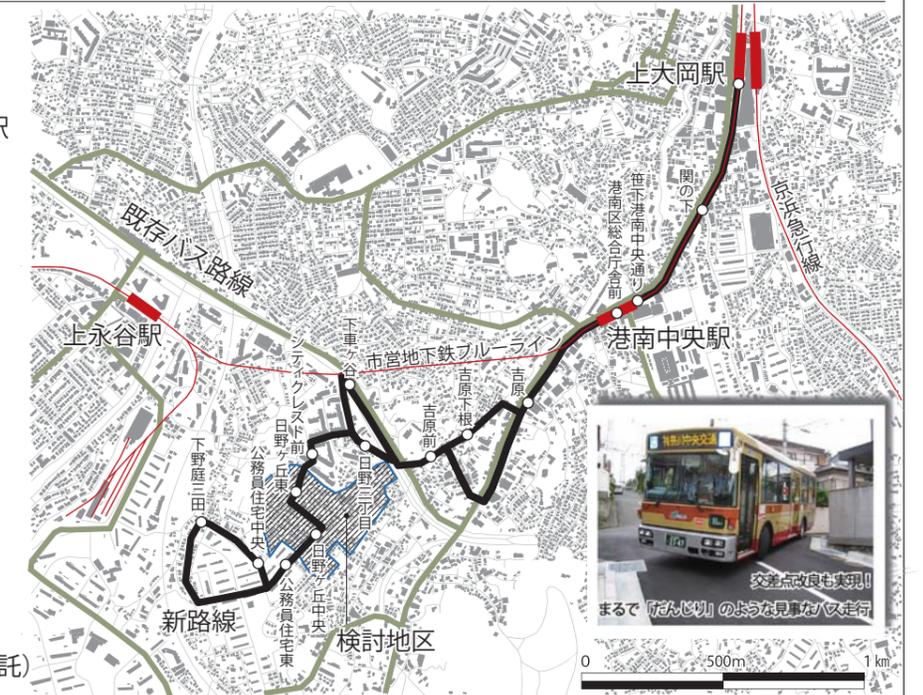
平日 27 本 / 日 土曜 26 本 / 日
 日曜・祝日 18 本 / 日

運賃 (現金) ※IC も使用可

大人 220 円 小人 110 円

運行事業者

神奈川中央交通株式会社
 (株式会社横浜神奈交バスへ運行委託)



地区名：**戸塚区 上矢部 地区 ラムーナ交通サポート検討プロジェクト**

グループ登録：平成 19 年 11 月 本格運行開始時期：平成 21 年 6 月 検討期間：約 1 年 7 ヶ月

地区の状況：約 600 世帯 約 2,500 人が居住 工業団地跡地の大規模マンション JR 戸塚駅から約 2 km



地域の
取組み概要

マンション開発に合わせて新設されたバス路線は、当初、渋滞の激しい道路を運行していましたが、マンション住民からの路線増便要望を契機に、地区全体のバス路線の再編を近隣自治会町内会も含めて協議しました。この再編は「実証運行」を行わず、他路線の利用状況も含めた綿密な需要予測（アンケート）調査を行い「本格運行」に至っています。

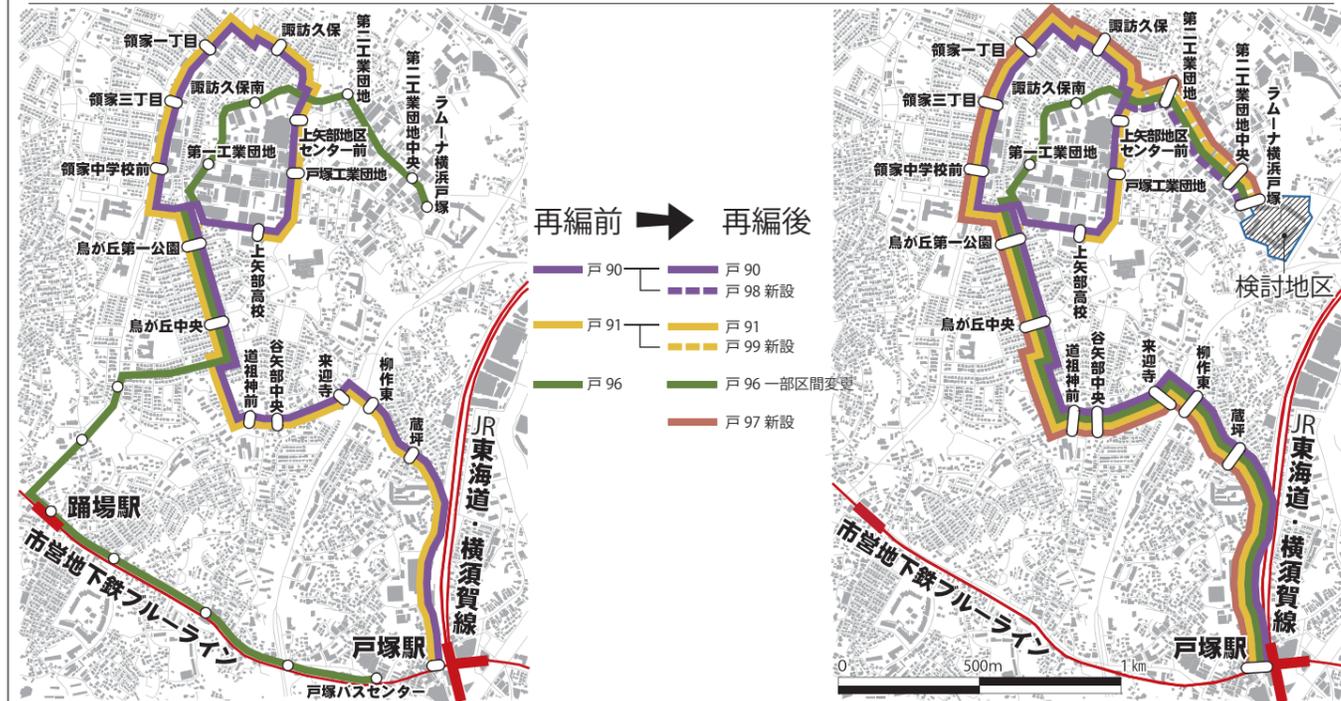


成功のポイント
と再編の効果

既存バス路線を再編（増便やルート変更等）をすることは、バス利用者数の増加が見込めないと実現が非常に困難ですが、本地区では、地区内の他路線も含めた見直しを行うことで、「利用者の利便性の向上」と「事業者の効率・採算性の向上」が両立することができたのが、再編成功の大きな要因です。また、再編後、影響を受ける近隣自治会町内会への周知を丁寧に行うことで、理解を得ることができました。

- ①増便により、地区全体のバス利用者が 2,200 人 / 日から 2,300 人 / 日へと増加
- ②増便により、ピーク時の乗車混雑が緩和
- ③朝のラッシュ時の定時性と速達性が確保

運行概要： 運行ルート	運行本数	運賃（現金・対距離制）※ICも使用可
上矢部循環線戸塚駅行 約 4.1 km	平日 35 便 / 日	大人 200 円 小人 100 円
ラムーナ線 戸塚駅行 約 3.6 km	土日祝日 21 便 / 日	(戸塚駅からラムーナ戸塚横浜まで)
運行時間		運行事業者
平日 AM 5 時台～PM11 時台		神奈川中央交通株式会社
土日祝日 AM 6 時台～PM10 時台		



地区名：**旭区 四季美台・今川町 地区 コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会**

グループ登録：平成 20 年 6 月 本格運行開始時期：平成 25 年 4 月 検討期間：約 4 年 9 カ月

地区の状況：約 2,000 世帯 約 6,000 人が居住 丘陵上の戸建住宅地 相模鉄道二俣川・鶴ヶ峰駅から約 1～2 km



地域の
取組み概要

地区内の道路幅員が 4 m 程度で、最寄駅まで徒歩 15 分以上かかる本地区では、特に帰宅時の登り坂に苦勞する高齢者が多いことが気になり、連合町内会で本事業に取組むことになりました。

道路幅員が狭いため、バスではなく、狭い道路を走行可能なワゴン型車両で本格運行に至りました。現在は、回数券導入や車内企画展の開催、運行ルート・時刻表等の改善など、利用者数増加に向けて地域と事業者が参加する運行委員会で検討が続けられています。



インタビューに
応じて頂いた運
行委員会の方々

地域交通サポート事業に取り組むきっかけは、「自家用車を手放したらいつか私達も外出に困るのでは？」という、気づきでした。「実証運行」を行い、路線継続の採算性を検証できることが本事業の興味深いところです。実証運行中のニーズ調査を踏まえて「フリー降車 OK」としたところ、利用者が約 60 人 / 日から約 100 人 / 日となり、採算性の目途が立ち、本格運行へと至りました。本格運行へ移行した際に、事業者、地域、横浜市の間で三者協定を結び、常に採算性を意識した運行を心がけています。

四季めぐり号の
動画へアクセス



<https://www.youtube.be/hSK2lwPjRyw>

運行概要：

運行ルート

二俣川駅～本村町～四季美台
～今川町～鶴ヶ峰駅付近
二俣川駅方面行 約 3.7 km
鶴ヶ峰駅方面行 約 4.3 km

運行時間

平日 AM 9 時台～PM6 時台
(土日祝日は運休)

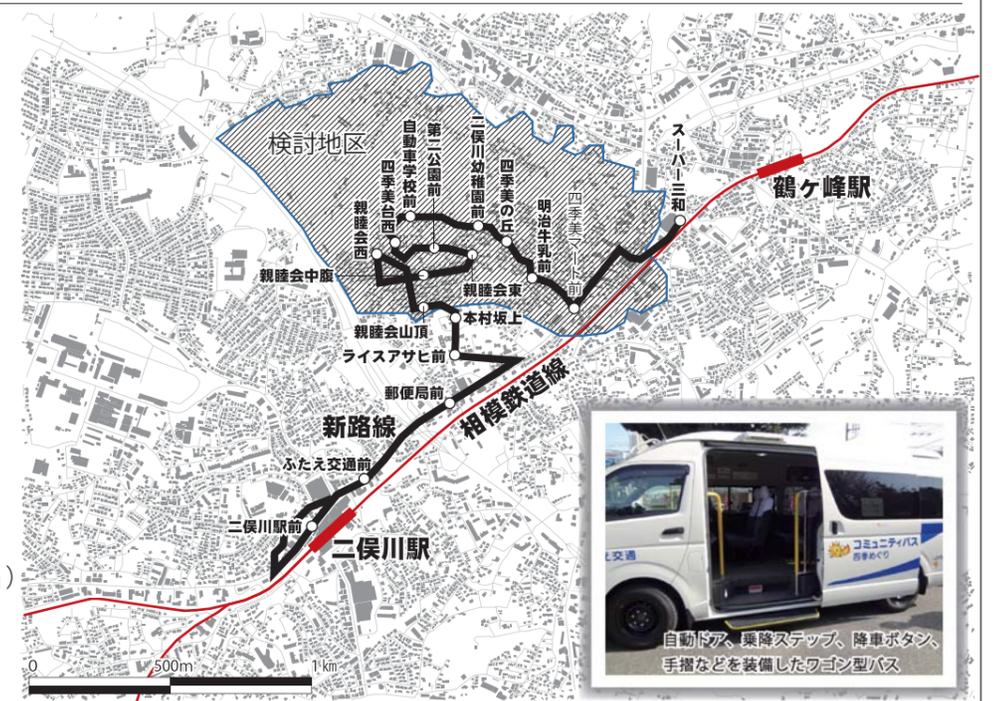
運行本数 21 本 / 日
(平成 26 年 9 月時点)

運賃（現金）

300 円（未就学児は無料）
敬老特別乗車証の利用不可
回数券 3,000 円（11 枚つづり）

運行事業者

二重交通株式会社



自動ドア、乗降ステップ、降車ボタン、手摺などを装備したワゴン型バス